

(3) 適切な対応策を実施するための海面上昇の継続的・定量的な把握及び予測

1) 潮位の観測値に含まれる種々の要因

表 5.1 潮位観測施設で得られるデータに含まれる要因の例

要 因	変動	期間	現 象
地盤変動			
プレートの隆起、沈降などによる地殻の変動	大	長期間 短期間	・地域的な変動 ・連続的な現象 ・突発的な現象（地震、火山活動）
地盤沈下	大	長期間	・地域的な変動 ・連続的な現象
水位変動			
地球温暖化による海面上昇	小	長期間	・全域的な変動 ・連続的な現象
大気圧の季節変化	大	短期間	・季節的な変化 ・一時的現象（台風等）
海水密度の季節変化	大	短期間	・季節的な変化 ・地域的な変動
海流の変化	大	短期間	・地域的な変動 ・一時的現象（黒潮等）
風	小	短期間	・季節的な変化 ・地域的な変動 ・突発的な現象（台風等）
降雨	小	短期間	・季節的な変化 ・地域的な変動 ・突発的な現象（台風等）
プレートの沈降による地球内部への海水の取り込み	小	長期間	・全域的な変動 ・連続的な現象

（地盤変動には地殻変動・地盤沈下など、水位変動には温暖化以外に大気圧・海水密度・海流・気象などの要因がある。また、表の例以外に地軸や太陽・月等の天体軌道の変動も水位変動に影響してくる。地球温暖化の影響による純粋な海面上昇量を把握するには、地盤変動を踏まえた相対的な水位を把握する必要があるほか、温暖化以外の影響による水位変動も考慮する必要がある。）